

2022.11

第74号

郡上市

議会だより



題字「郡上市」は、
郡上市立高鷺北小学校6年生
おおぼら りな
大洞 璃奈さんの
作品です。



高鷺北小学校伝統の北小ソーラン 2022

より開かれ
信頼される
議会をめざして



目次

令和3年度決算認定	2
決算認定特別委員会 Q&A	4
9月定例会 主な内容	7
委員会活動報告	8
クイズの答え・皆さんからの声	9
一般質問〈郡上の課題を問う〉	10
気軽にしゃべらまいか広聴活動	
クイズコーナー・編集後記	18

変化に対応する郡上へ邁進!!

令和3年度 各会計の決算額

一般会計	歳入	305億1643万円
	歳出	289億2726万円
特別会計	歳入	112億7780万円
	歳出	108億1217万円
水道事業会計	純利益	4448万円
下水道事業会計	純利益	8144万円
病院事業会計	純利益	△2億3191万円

※金額の△はマイナスを表しています

決算の概要

令和3年度の一般会計決算額は、歳入305億1643万円、歳出289億2726万円となった。令和2年度と比較して、歳入で33億9220万円の減、歳出は36億644万円の減となった。

市税は、全体で1億234万円の減となり、地方交付税は、全体で6億7826万円の増となった。国庫支出金は、全体で34億3003万円の減、県支出金は、全体で1億105万円の減となった。
財政健全化の指標である実質公債費比率は、前年度より0.6ポイント低い11.8%、将来負担比率は、前年度より11.2ポイント低い72.1%となり少し改善した。

産業・雇用

●木材需要の増大に対応するため、主伐・間伐時に木材の搬出に必要な既設作業路の維持補修などの経費支援を行い、12路線を整備

●郡上らしさを持った通年・滞在・体験型リゾート実現のため、シャトルバス運行実証実験や共通リフト券、宿泊・体験予約が可能なWEBサイトの構築、多言語観光マップ看板の設置を実施

●事業者などへの経済的支援として、プレミアム付商品



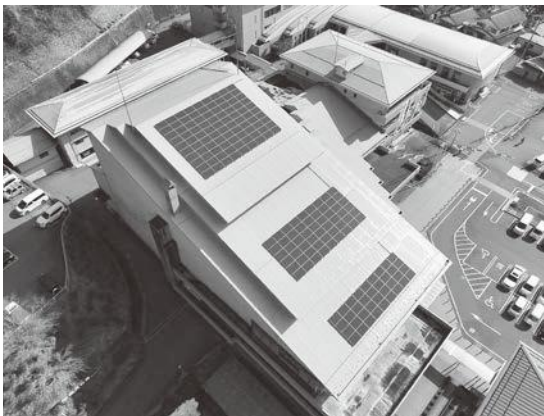
構築されたWEBサイト

環境・防災・社会基盤

●観光事業者への経済的支援として、観光事業者経営安定化補助金（415件交付）、郡上満喫体験型観光利用割引事業補助金（4245人利用）、教育旅行支援助成金（58件交付）、特産品等消費拡大事業を実施

●券（5万セット）、感染症対策応援奨励金（193件）、事業者販売促進支援（59件）を実施

●本庁舎に再生可能エネルギー設備を導入することで、低炭素化を推進



文化センターに設置された太陽光パネル

●定形的な申請業務などの処理時間の縮減を図るため、AIOCR専用スキャナ機器を導入した実証実験を実施

情勢に応じた施策を実施し

- 「脱炭素社会郡上」の実現に向けて、地球温暖化対策実行計画協議会の設立や食品ロス削減を目的にオリジナルマイバックの制作及び利用促進を目指す「郡上もつたないプロジェクト」を実施



多彩に取り揃えたオリジナルマイバック

- 汚泥発酵肥料「郡上コンポスト」9983袋（15kg詰）を生産し、希望者に無料配布を実施
- 水道老朽管路などの更新・耐震化のため緊急時給水拠点確保等事業（大和地域）、生活基盤近代化事業（和良地域）を引き続き実施

健康・福祉

- 第3子以降の児童の保護者に市共通商品券（年間10万円を6年間）を支給する、がんばれ子育て応援事業の実施（338人）
- 共働き家庭やひとり親家庭を支援するた

め、市内12か所の放課後児童クラブ運営へ補助（3万4837人が利用）

- 令和3年4月1日から翌年3月31日に生まれた新生児を養育する保護者に対して市共通商品券を支給しコロナ禍に対する経済的支援を実施（187人）

- コロナ禍での医療提供を維持するため、医療機関に対して支援金を給付（21機関）
- 郡上市民病院の電話交換機、ナースコール設備を更新、国保白鳥病院の透析機器を更新

教育・文化・人づくり

- ICT支援員1名を任用し、学校現場におけるICT環境の整備や授業でのICT機器活用のためのサポートを実施

- 郡上おどり、白鳥おどりを伝承保存するため、お囃子講座や市内小中学校でマイ下駄作り（対象人数355人）を実施

- 新型コロナウイルス感染症の影響から郡上かるた大会の代替企画として郡上かるた暗記オンラインピックやオンラインでかるた取り（CATVを利用）を実施

- 個人や団体所有の市関連の歴史資料の調査と受入、整理を実施。写真や映像などのデジタルデータ化を進め、一部はネット上のデジタルアーカイブに搭載し、コンテンツを拡充

- 郡上市篠脇城跡・東氏館跡調査検討委員

会の指導助言を受けながら「東氏館跡庭園」関連調査、「篠脇城跡」試掘確認調査などを実施

- 市とともに男女共同参画社会づくりに取り組むサポーターによる「ともいきフェア」をCATVを活用し開催。女性の活躍応援のためのセミナーを6回開催

自治・まちづくり

- ふるさと寄附啓発事業では、寄附件数1万2133件、寄附金額は2億3773万8千円となった

- 企業版ふるさと納税は1社から50万円の寄附を受けた。ウェブサイトでの周知・受付先を新たに1つ追加するとともに、返礼品目を109品目追加した

- 地域おこし協力隊員は、八幡地域1人、白鳥地域2人、大和地域1人、高鷲地域2人、明宝地域1人、和良地域1人派遣



地域おこし協力隊などによるイベント周知活動

委員長に尾村忠雄委員、副委員長に渡辺友三委員を選出し、9月12日、13日、14日の3日間にわたり審査しました。本会議最終日に委員長が報告したのち、採決し認定しました。

歳入

問 ふるさと寄附金についてのどのような評価をしているのか

答 寄附金は増額しており、返礼品のラインナップも増やしている。令和5年度に向けて運用方法など検討したい。

問 持続化給付金により、確定申告時に想定以上の課税になるというトラブルがなかったか

答 商工会などからある程度の周知を事前にしており、特にトラブルはなかった。

歳出

問 CATV加入率と光化整備の状況は

答 全加入者は9098件、個人加入では82.56%である。光化整備はCATVのエリア内はほぼ完了している。

問 本庁舎と文化センターの太陽光発電による売電収入は

答 発電電力は全て自家消費して

おり、節電額はここ7か月間で63万5千円ほどである。

問 消防施設整備でカメラ付ドローンが購入されたが、活用状況は

答 育成中の3名を含む現存15名の操縦者がいる。実用化に向けて訓練をしており、現場出勤は3回である。

問 消火栓器具備品の耐用年数が過ぎている事例もあるようだが、管理はどうしているか

答 数量が膨大で全てを管理できているわけではない。地元の方や消防団員の力を借りながら行政として管理について検討していきたい。

問 消防団が使用する無線機が古くなっているが

答 現状、古いものだが使用可能であり、携帯電話の普及もあることから使用できる限り使っていきたい。

問 石徹白の保育園で未満児が待機児童状態とのことだが、他の保育園などではどうか

答 石徹白保育園は保育士不足によるもので、その他の園は充足している。今後は、登録保育士の増員を検討していきたい。

問 通園バスの安全運転や管理は日常的にされているのか

答 公立園においては保護者との情報共有や人数確認を徹底しており、園児は座席指定となっている。私立園に対しても同様の対応を依頼している。

問 市の出生数が大きく減少して

答 おり、全市での出生数が合併前の八幡町の出生数と等しくなっているが

問 次世代を生み育てる年齢層の方が郡上に住み、働いていただくよう政策を引き続き行うとともに、新たな政策を検討したい。

問 風倒木等林内処理事業だが4か所の実施は少ないのでは

答 要望があった地区での実施以外にも補助事業実施箇所近辺や森林調査時において事業箇所がないか確認している。

問 中山間、多面的交付金は、手続きが難しい。支援組織の結成や支援導入はできないか

答 今後、農地を維持管理するた

めに有効な事業であるため、相談があれば、市職員が対応し、申請書などを指導させていただいている。

問 市民病院の借入金の利子負担が大きいが、借り換えはできないのか

答 制度上難しいが、可能性は検討したい。

問 国名勝「東氏館跡庭園」、県史跡「篠脇城跡」を今後どうしていくのか

答 一体的に国の史跡を目指し調査を進めていく。活用については、専門家の意見を聞きながら検討したい。



「篠脇城跡」調査の様子

郡上市議会では、各常任委員会でテーマを決めて行政評価を行っており、テーマに関連する事業について決算認定特別委員会において委員長が代表して質問しました。
その答弁を参考に、委員会で評価を取りまとめ、必要な事項は議会からの政策提言として市長に提言する予定です。

総務常任委員会

テーマ「人口減少克服・

地方創生」

地域振興事業

問 各地域協議会の執行率の差をどのように捉え、実績に応じた交付額とする必要はないか

答 各地域協議会で課題の再抽出など丁寧に議論を重ねている団体もあるので、執行率だけでは判断できないと考えている。また、実績などに応じた配分などについては、今後の必要性を研究しながら、各地域協議会から意見聴取を行い検討する。

地域おこし協力隊派遣事業

問 3年間の任期終了後、継続して任用できるように、隊員の支援強化を図る考えはないか

答 任期終了後の支援などを目的とした補助金が「地域おこし協力隊起業等支援補助金」で、上限100万円まで有利な補助であり、新たな制度の創設や更なる強化は今のところ考えていない。

過疎地域自立促進事業

問 令和4年度から市全域が過疎地域に指定された。過疎債枠の十分な確保の考えは

答 元利償還金の70%が交付税措置され、財源として有利な過疎対策事業債を活用することは大切と考える。
有効活用できるように、各地域で取り組んでいきたい。

郡上八幡町屋敷越前屋活用事業

問 多目的スペースや土蔵など、今後各施設の有効活用を図りたい。また、閉館間際の来場者に対する対応や郡上おどり開催

時における閉館時間の延長及びトイレの開放についての対応は多くの市民をはじめ、観光客にも利用していただく必要性から利用のニーズを調査し、受託者と協議している。

閉館間際の来場者対応や閉館時間の延長及びトイレの開放については、課題なども整理し、協議を進めたい。

産業建設常任委員会

テーマ「時代に合わせた

各種産業の振興」

郡上地域林業成長産業化モデル事業

問 森林資源のデータ化が、木材利用の拡大につながるのか

答 今まで不明であった森林資源量がデータで事務所把握できるとの見える化、森林組合による日々の木材生産量もデジタル化されて見える化などが飛躍的に進んだ。
山の資源データ把握、材の生産量、製材量のデータ管理と調整が可能になったことなど、大きな事業効果があった。

生活保全林整備事業

問 事業が繰り越しになっているが、発注時期が集中していくことが一因であり、市民の安心安全のため事業執行が円滑に行われるように工夫が必要ではないか。

答 発注見通しの公表を検討する。

境界明確化等事前準備事業

問 選定の優先順位はどのように選んでいるのか。

答 森林経営管理事業の意向調査を実施した箇所から実施している。意向調査は、森林整備の遅れている市内の民有人工林の中で、集落に隣接し、土砂災害などの災害リスクが高いと思われる箇所を抽出し、災害リスクの観点で順位付けしている。



森林整備後の山林（議員視察時の様子）

文教民生常任委員会

テーマ 「少子化に対応した
活力ある学校づくり」

小中学校ICT教育推進事業

問 ICT活用の拡大によって、書く機会や子ども同士のコミュニケーションが減少し、言語活動や人格形成におけるマイナス影響はないか

答 教育実践とICTのベストミックスを図るスタンスで実践している。

ICT機器は、文房具の一つという捉え方であり、これまでと同じようにノートに書いて学ぶことや仲間と交流して学びを深めることを大切にしている。

問 不登校児童生徒に対してどのようなICT活用を行っているか

答 児童生徒の実態に応じて、タブレット端末を利用したオンラインによる学習支援を行っている。

オンライン学習をきっかけに登校できるようになった児童生徒がいることを確認している。

問 学校ごとの指導方針や教職員の指導力の差によってICT活用能力の差が生じるようなことはないか

答 管理職に対しては、ICTの効果的な活用や情報モラルを含めた安全な活用に関する指導を行っている。

各校に「ICT活用推進教諭」を配置し研修会を実施するとともに、効果的な活用方法を交流することにより学校差が生じないようにしている。

また、市教育委員会と各教科から選出した教職員で構成された「ICT指導力向上プロジェクト委員会」では、各教科部会でのICT活用についての研究に取り組んでいる。



教職員のICT活用研修の様子

令和3年度 歳入歳出決算審査意見書 (抜粋)

一般会計・特別会計

財政力指数及び経常収支比率は減少したが、基金積立金は、前年度末残高より約6億円増加した。引き続き財源の確保と基金残高の安定に努力されたい。

コロナ対策だけでなく物価高騰による経常的支出の増大、人口減少や少子高齢化、地域経済対策、デジタル化の推進など多くの重要課題があり、多額の負担が見込まれるため、将来にわたって健全な財政運営が維持できるように努められたい。

水道事業会計

前年度と比較して給水人口は減少した。また、給水戸数、年間配水量は僅かに増加したが、有収率は減少した。

料金の見直しについては、コロナ禍の影響により先送りはやむを得ないが、今後も経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組み、より効率的な経営を展開されるとともに、本来の目的である良質な水の安定供給に努められたい。

下水道事業会計

使用料の収納率が99.8%と高く、精力的な滞納整理がつかえる。

今後未収金の新規発生を防ぐとともに、過年度分の回収に努力されたい。今後は、下水道統合整備事業など経営基盤の強化などに取り組み、持続可能な下水道サービスの提供に努められたい。

病院事業会計

令和3年度は新型コロナウイルス感染症による受診控えが前年度に比べて減少し、外来数が増加したことで医業収益が改善した。引き続き経営改善に努められるとともに、医師・看護師などの医療従事者の確保を図り、医療に対する安全性・信頼性の確保と医療水準の維持・向上を目指し、地域の中核的な医療機関としての役割を果たされたい。

財政健全化判断比率等

実質公債費比率は、前年度から0.6ポイント改善され11.8%、将来負担比率は、前年度に比べて11.2ポイント改善され、72.1%となり、財政運営の努力がうかがえる。

公営企業などの資金不足比率は、資金不足が数字に表れておらず、事業の経営の健全性は保たれていると判断できる。

郡上市監査委員 大坪 博之
原 喜与美

9月定例会

令和4年度一般会計補正予算

5億6975万円増額
(全会一致)

主な補正予算の内容

●電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金等給付事業

住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり5万円の給付
1億9626万6千円

●庁舎管理経費

物価高騰に伴う電気料の補正
2846万7千円

●郡上借楽園移転整備事業

基本設計・現地測量業務の委託
1514万1千円

●令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
2472万8千円

●保育園管理運営経費

物価高騰に伴う光熱費の補正
やまびこ園保育園部・みなみ園保育園部
193万4千円

●観光施設維持管理経費

物価高騰に伴う指定管理観光施設15施設への光熱費、燃料費高騰対応補正
2471万円

●温泉施設管理運営経費

物価高騰に伴う指定管理温泉施設4施設への光熱費、燃料費高騰対応補正
4055万円

●消防団員退職報償経費

消防団員の退職報償金の確定による補正 191名分
639万4千円

●小学校管理事務経費

物価高騰に伴う光熱費の補正
全20校
1938万3千円

●中学校管理事務経費

物価高騰に伴う光熱費の補正
全8校
1304万円

●単独災害復旧事業

令和4年7月16～17日発生豪雨災害による補正 22か所
680万円

令和4年度特別会計補正予算

(全会一致)

●国民健康保険特別会計

●和良保健福祉総合施設管理事業
物価高騰に伴う光熱費の補正
124万8千円

●介護サービス事業特別会計

●和良介護老人保健施設事業
物価高騰に伴う光熱費の補正
216万9千円

令和3年度決算認定

(全会一致)

一般会計、17特別会計及び3企業会計の決算を認定

条例の一部改正

(全会一致)

●市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
市職員の育児休業の取得要件の緩和

●市手数料条例の一部改正

マイナンバーカードにてコンビニなどでの各種証明書の取得手数料を令和7年3月31日まで軽減

人事案件

(全会一致)

●人権擁護委員候補者の推薦

上野 道子 (八幡町) 任期3年
横井美和子 (美並町) //
池場 利廣 (和良町) //

財産の取得・処分の変更

(全会一致)

畜産担い手育成総合整備事業により岐阜県農畜産公社が整備した施設を市が一時的に取得し、農家に売却することについて、予定金額からの増額
463万9千円

工事請負契約の締結

(全会一致)

大和統合小普通教室棟増築工事の一般競争入札による業者の決定
・株式会社ヤマシタ工務店
6億7650万円

意見書

(全会一致)

「軽油引取税の課税免除制度の継続を求める意見書」

軽油引取税の課税免除制度が令和6年3月末をもって廃止されると、本市産業の柱である冬季観光産業や農林業などの経営において大きな負担増を強いられ、地域経済に計り知れない影響を与えることから、現行制度を継続されるよう強く要望する
提出先・内閣総理大臣 両院議長
総務大臣 財務大臣 農林水産大臣
経済産業大臣 国土交通大臣

総務常任委員会

意見交換会

市民協働センター（7名）との意見交換会

令和4年7月14日、市民協働センターから

- ①経緯、理念、目的、パーパス、ミッションについて
- ②委託内容と事業について
- ③市民団体、NPO法人について
- ④相談業務、補助金の相談について
- ⑤昨今の市民協働センターの動きについて

説明を受けた後、質疑応答や情報交換を行いました。

市民協働センターは令和4年度から新体制がスタートし、新センター長に就任された大中 瞳センター長は、市民協働センターの理念「市民・行政それぞれの力を結集し、自治力・市民力を高める」を軸に、皆さんの想いにしっかり寄り添いながらサポートし、市民と行政の中間支援として幅広くいろいろな組織や団体と連携しながら推進し、本市の地域づくりに関してどんな分野でも頼られるセンターを目指しており、センター

の認知度の向上や活動拠点としての周知を図りたいとの説明がありました。

今後も総務常任委員会としての役割を踏まえ、お互いに課題を共有し、課題解決を図り、地域づくりに寄与していきます。

市消防団大和方面隊との意見交換会

令和4年8月30日、少子高齢化社会を背景にした市消防団の現状と課題を把握するため、また、今後の「郡上市消防団組織再編基本計画」の実施にあたり、郡上市総合計画をはじめとした関連する各種計画との整合性を図る際、団員や地域住民の意見を尊重し、反映するため、各方面隊との意見交換会を企画し、実施しました。

意見交換会では、

- ①消防団員、支援団員の出勤、確保について
 - ②操法大会に関する事
 - ③消防設備に関する事
 - ④報酬に関する事
- などの項目に関連したテーマに沿って進めました。

今後、各方面隊において意見交換会を実施し、課題解決に向けた取り組みを行っていきます。

産業建設常任委員会

管内視察

令和4年7月8日、「郡上の大地を味わう日」（川合小学校）、「トマト選果場」、「森林経営管理事業」の視察を行いました。

「郡上の大地を味わう日」は今年度から始まった事業で、市内産の農水産物や特産品を給食として子ども達に味わってもらうものです。学校給食の地産地消を今後とも推進する契機となる事業だと感じました。

「トマト選果場」では導入予定のトマト選別に使用されるセンサーカメラの必要性などを肌で感じる事ができました。



トマト選果場の様子

「森林経営管理事業」は、八幡地域で実施された事業を視察しました。災害リスクを減少する重要な事業であるので今後とも進める必要性を実感しました。

9月1日、「森林経営管理事業」、「道路改良予定地」、「やまとの朝市」の視察を行いました。

「森林経営管理事業」では白鳥地域で行われた事業を視察しました。「道路改良予定地」では工業団地の整備にともなうものなど、現場を確認しました。

「やまとの朝市」では、「農林水産物流通ネットワーク構築事業」について説明を受けました。これは市内の農水産物を市内の飲食店などに流通させる仕組みで、野菜などの保冷庫を視察しました。

意見交換会

郡上森林組合との意見交換会

7月19日、郡上森林組合役員の方々と意見交換を行いました。

森林組合の進める事業や市への要望をお聞きし、木材を安全かつ効率にどのよう搬出するか、林業に関わる人づくりをどう進めるかなど委員から質問や意見が出されました。

文教民生常任委員会

本委員会では7月6日と8月31日に、市内の文教関係の7施設その他を訪問し、関係者と懇談しました。

児童養護施設合掌苑

戦後、戦災孤児の施設として発足しましたが、現在は家庭環境の問題などで預かることが多いこと、今後は地域のご理解をいただき、家庭的な環境を重視する地域分散型の施設を目指したいとの説明を受けました。

白鳥中学校

ICT教育の授業を参観させていただきました。全生徒がタブレットを持ち、説明や発表あるいは調べ学習など、効果的に活用していました。



また、不登校生徒についてはカウンセラーや相談員によるきめ細かい活動で対応していました。

ぶなの木福祉会ともいきの里東弥障がいがある人が就労し、給料と



年金で親亡きあとでも暮らし続けられる仕組みを作ることに、重度の障がい者や精神障がいの人へ医療との連携や施設の確保など行政の支援が重要であるとの説明を受けました。

お宝まんじゅう

白鳥町為真の吉川さんが自宅提供されて作られた地域共生型サロンで障がいの有無にかかわらず子どもからお年寄りまで、気軽に集まれる居場所になっていました。

郡上市図書館

コロナ禍で子どもの読書量が減少している。司書の方などの協力を得て、何とか回復したいとの説明を受けました。

国保白鳥病院

新装とともに最新の機器が導入された本館2階の透析室を視察しました。明るく広い部屋が印象的でした。



クイズの答え《第73号出題》

ご応募いただきありがとうございました。応募総数は58件でした。いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は 問1 ①かわさき 問2 ③明宝 問3 ②タブレット端末

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。なお、ご応募いただいた方の個人情報、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・感想の中から、一部を要約して紹介します。

- 郡上の子どもたちが伝統文化を継承し、毎年のように地域の行事に積極的に参加している事が本当に素晴らしいと思うし、今後も末長く続いて欲しいと心から願っています。そのためにも人口流出を防ぎ、定住者を増やすための取り組みが必要だと思えます。 大和 58歳
- 濃飛横断自動車道事業促進大会が開催されたことですが、私が元気なうちに通行できることを願っています。ぜひ早期開通できるようによろしくお願いします。 八幡 63歳
- 議員の皆さんの意見や取り組み、ほんとうに参考になります。美並にはスーパーがないので、買い物支援はいち早くすすめてほしいと思いました。 美並 24歳
- 郡上踊り、今年は3年ぶりに開催されています。大好きな郡上踊りがコロナにまけず、こうして伝統文化として受け継がれていくことを嬉しく思います。

- 今までは、サラッと見ていただけでしたが、次号からは色々に関心を持って読んでいく楽しみが生まれました。 明宝 不明
- 高鷲 61歳

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に質問を行い、見解などを求めることです。9月定例会の一般質問に14名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

また、YouTubeでの一般質問録画配信も行っております。

●郡上市 HP > 郡上市議会 HP > 一般質問録画配信 からご覧いただけます。



YouTube

一般質問一覧

	議員名	質問事項
1	渡辺友三	1. 住民の美化活動について
2	原喜与美	1. 相続放棄された不動産について 2. 文化財の説明板等の設置について
3	山川直保	1. 農業生産資材高騰対策について 2. プラゴミゼロ宣言について 3. 市道の草刈りについて
4	田中義久	1. 林業従事者の安全衛生対策について 2. 食育並びに食の安全・安心について
5	野田勝彦	1. 故安倍晋三元総理の国葬への対応は 2. 「みどりの食料システム戦略」への取り組みは
6	本田教治	1. 人口増加促進施策について
7	長岡文男	1. 長良川鉄道の今後のあり方について 2. 日本まん真ん中センターのあり方について
8	兼山悌孝	1. 「日本一のおどりのまち郡上」の戦略は 2. 社会の問題を教育の場でどう扱っているか

	議員名	質問事項
9	田中やすひさ	1. 救急体制について 2. 今後の市政運営について
10	清水敏夫	1. 郡上市の畜産振興を更に進めるために 2. マイナンバーカードの普及取組みについて 3. 投票済証明書のデザインについて
11	蓑島もとみ	1. 本市内での医療態勢の充実を 2. 環境維持の今後
12	森喜人	1. 選挙について 2. より深まる介護社会に向けて
13	田代まさよ	1. 人口減少時代における地方創生について 2. 「日本一のおどりのまち郡上」について
14	森藤文男	1. 障がい者への合理的配慮について 2. 避難所におけるアレルギー対応食について 3. スポーツ施設の管理状況と環境整備について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。

問

ブルーシートやプラスチック製品など 不適切な放置の解消を

環境水道部長



わたなべ ともぞう
渡辺 友三

今後広報を行う際に、適切な処理についても併せて周知するよう努めたい

も併せて周知するよう努める。

行客客に指定ごみ袋を販売し、指定箇所回収し不法放置の解消の取り組みを

環境水道部長

新たな規格のごみ袋を作成する費用的負担も大きく、販売店との回収の仕組み作りが容易でない。市としては市民意識の向上を図り、不法投棄しにくい街づくりを目指す。

道路やポケットパーク

などの清掃は

小酒井建設部長

道路沿いの植栽や花壇は基本的に道路管理者が管理している。各施設は管理担当部署が実施しており、東屋等



地域の清掃活動

の周辺の植栽は観光客が訪れる施設を優先的に、公衆トイレ周辺は踊りシーズン前に市職員で行っている。

市道等における少人数での草刈り作業等、

怪我があった場合の保険対応は

建設部長

少人数でのボランティア作業は、内容や参加者等の把握が難しく、個人の責任において活動していただきたい。



はら きよみ
原 喜与美

近年、農地などの不動産についても相続放棄をされる事例が発生している。その対処方法は

小酒井建設部長

全国的にも相続放棄の案件が増えている。

相続放棄された農地や家屋は、法的には最終取得者が管理を始めるまでは相続権利者に責任があることになっているため、生い茂る雑草などを地域の方々が刈り取る場合に敷地内へ入ることは、相続権利者の了解を得て行えば可能と思われる。

難しい問題は弁護士に相談されることが望ましい。

弁護士による無料の法律相談が行われているのでその機会を活用してほしい。

令和5年には改正民法の施行や、新しい法律が施行され、取り扱いが変わることとなっている。いずれにせよ、個人の

財産権に関わるので専門家に相談し適切な取り扱いをしていただくよう、市としては指導していきたい。

市内の文化財に設置されている説明板の統一は

長尾教育次長

説明板などについては八幡市街地などの地域では、ある程度統一した内容で設置してあるが、多くは自治会や所有者、任意団体などが設置しているため、多種多様である。

市では、「文化財保存活用地域計画」の策定を進めており、計画の中に説明板などの設置方針を位置づけ、設置に対するガイドラインの作成を検討したい。



放棄され雑草が生い茂る現地

問 ▶ 相続放棄された農地などの対応は

建設部長

個人の財産権に関わることなので、専門家への相談など適切な取り扱いを指導



やまかわ なおやす
山川直保

農業生産資材高騰対策を 早急に実施されたい

問

農林水産部長 国の対策を探りつつ、市単独支援事業の検討を行う

エネルギー価格の上昇に加え、ウクライナ侵略などの影響により、化学肥料などの資材が急騰し、農業経営は厳しい。早急に市の対策を講じられたいが

田代農林水産部長

指摘のとおり国際情勢・円安などにより肥料に限らず、農業資材はほぼすべてが高騰をしている状態である。

JAでは、前倒しによる資材など早期発注で価格を抑える努力を行っているが、土壌改良資材などでは、高いもので約1.65倍となっており、令和5年用の肥料価格は11月にも更に値上がる予定である。

本市としては、国の肥料高騰対策事業の活用も探りつつ、市単独補助について検討し、農業生産者支援に努めていく。

令和元年議会一般質問において、「市長は、1年以内をめどにプラスチック

クゴみゼロ宣言ができるように取り組みたい」と答弁されている。ぜひ、早急に宣言をされたいが
日置市長

指摘のように令和元年12月の一般質問においては、そのような答弁をさせていただいた。

その後コロナなどの直面する課題が多くあったが、本市としては、特にマイクロプラスチックが及ぼす環境への影響を踏まえ、可能な限り早く、指摘に応えたい。

猪俣環境水道部長

プラスチックごみによる海洋汚染が深刻な問題であることは十分承知している。

今いっそうプラスチックごみを含めた削減の取り組みと、環境保全に対する市民意識の向上を促進していきたい。



プラスチックごみゼロ宣言を！

問

林業従事者の安全・衛生対策をもっと 応援していく必要があるのでは

農林水産部長

今年度から新たに「緊急通報システム」等の新技術の導入を支援



たなか よしひさ
田中義久

日置市長
先日、大和町の市有林で岐阜県林業労働災害レスキュー訓練が行われた。

味の継承「地産地消の推進及び特産物の振興」「食の安全安心の確保」等6つの基本施策をもって進めている。

農林水産部長

農産物等流通ネットワーク構築事業で旬彩館を拠点に関係者連携の下で地産地消拡大に取り組んでいる。

長尾教育次長

また、県は「林業労働災害撲滅推進協議会」を設立するので、市も積極的に参加する。現場での安全確保があつてこそその人材確保。そのため、新年度には必要な新施策を打ち出していく。

市は食育や食の安心安全をどのように進めているか。地元農産物の生産流通をもっと拡大できないか

田口健康福祉部長

市では、郡上市食育推進基本計画に基づき、「食文化やわが家

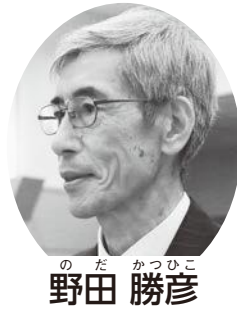
学校給食では、岐阜県学校給食会の検査でパンと米は残留農薬、放射能、カドミウムなどの検査を行っている。食材は有害なものや疑いのあるものなどは避けている。



問 故安倍晋三元総理の国葬への対応は

市長 通知が届いた場合は

内容に応じて対応を検討する



野田 勝彦

現在国葬に関する国及び県からの要請はないとのことだが、今後要請があった場合、市及び学校においてどのように対応するか
日置市長

この先何らかのことが届いた場合には、その内容に応じて対応を検討する。

熊田教育長

現時点では学校における半旗の掲揚や黙とうの指示、あるいは音楽や行事の制限などは考えていない。また、各

学校長で判断する指示を出す考えもない。定例の教育委員会でも、授業に集中してもらうことについて全教育委員の賛同も得ている。

「みどりの食料システム戦略」への取り組みは

日本農業の大転換になる農水省の「みどりの食料システム戦略」とはどのような農業を指すのか

田代農林水産部長

2050年までに、農林水産業のCO₂をゼロに、化学農薬の使用量を50%削減、化学肥料の使用量を30%削減、有機農業の面積の割合を25%に拡大する農業を目指す戦略である。

る。

特にネオニコチノイド系殺虫剤の環境・人体への影響と、その削減の道筋をどのように考えているか

農林水産部長

人体への影響は今のところ被害状況の報告はない。「戦略」が出されたことで、市として同農薬の削減の研究と、適正で安全な使用について啓発に努めていきたい。



掲揚が問われた半旗

問 本市に大学・専門学校などの施設開設は

市長 開設の可能性を全部否定はしないが難しい



本田 教治

本市の人口増加策として大学・専門学校など若者が集まる施設の開設は

日置市長

将来の18歳人口の減少により、大学は冬の時代に向うと言われている。

全国の国立大学・公立大学・私立大学が運営できるか、非常に大学関係者は危機感を持っている。

本市での大学や専門学校開設の可能性を全部否定するわけではないが難しいと思う。現実には何が

できるか、地域の活性化のために役立つことができればと考えている。

本市における、産前・産後サポートは

核家族や、移住者には身寄りが少なく「孤育て」を防ぐための産前・産後の支援の状況は

田口健康福祉部長

令和2年度に「子育て世代包括支援センター」を設置し、妊娠期から子育て期まで、切れ目のな

い支援を行っている。妊娠期から支援者がいない方などは、関係機関が連携して早期支援を行っている。

本市へ移住に興味がある方へのホームページの改善を

移住されたい方への情報提供の改善と、助成金・補助金・支援の閲覧方法の改善は

三輪市長公室付部長

ホームページ上で移住支援の専用サイト「ふるさと郡上会」を設けているが、そこへの情報に届きやすくなるよう早急に改善する。

各種助成や手当・補助金については9月中に一覧で確認できるものを公開予定である。



問 ▶ 長良川鉄道の今後のあり方は



ながおか ながお 長岡 文男

長良川鉄道の経営状況は、どうか
河合市長公室長

令和3年度の営業損益は3億7945万円のマイナス、市の支援額は、施設整備などに1億3501万円、経営損失に対する補助が9604万円、合計2億3105万円となっている。

今後の在り方としてどのように考えているのか
日置市長

今年度、公共交通に関するアンケート調査を実施しており、結果を分析し検討の資料にしたい。沿線の首長であるとともに、第3セクターの代表者として支援を受ける立場の両方があり非常に心苦しい。鉄道運営に厳しい意見を持っている沿線市町もあることは聞いている。鉄道は一度失われてしまうと再び取り戻すことはできない。可能な限り存続させたい。支援していただける

国・県・沿線市町、市民の意見を聞いて対応していきたい。

市民活動と情報発信の拠点施設「日本まん真ん中センター」の今後の在り方をどう考えるのか
市長

ご指摘のあった喫茶店の問題・円空研究センターの問題など、しっかりと他の施設との兼ね合いや連携を検討したい。

隣の健康福祉センターを美並振興事務所の拠点としてもしたいと思っていることから、この地域一帯を拠点にしていこうという考えを持っている。アームの塗装などいざれ遠くない時期に手立てを講じていく。



日本まん真ん中センター

問

踊りの復活が新型コロナウイルスの感染者増加に繋がったのか

商工観光部長



かねやま やすたか 兼山 悌孝

県内のデータと比較し、直接的な因果関係は薄いと考える

催運営ができたと考えられている。
「日本一のおどりのまち郡上」を目指す戦略は

「郡上踊・寒水の掛踊」が全国41件の「風流踊」としてユネスコの無形文化遺産登録への登録申請されているが、市内にある他の踊りとの関係は

長尾教育次長

白鳥の拝殿踊りは専門家で詳細な調査を行っているところであり、白鳥おどりも継続することで価値付けの可能性もでてくると考えている。

商工観光部長

郡上おどりや白鳥おどりは、見る踊りでは



感染対策をしながら開催された郡上おどり

問

救急を守るために どのような方針を持っているか

消防長

「救急安心センター事業」の予算措置
を行いたい



田中 やすひさ

山田消防長

県は「#7119救急安心センター事業」の令和5年秋の運用を目指している。

病気やけがをしたときに、救急車を呼んだほうがいいのかなど、看護師、医師に24時間アドバイスを頂ける電話相談窓口になる。

救急車の適正利用や、救急医療機関受診の適正化、コロナ禍における市民の不安を少しでも解消できる窓口になるのではないか。市と

しては来年度、予算措置を行いたい。

救急車が配置されて
いない地域の課題と今

後は
消防長

救急車の配置のない大和、高鷲、明宝へは現場到着までに時間がかかることは認識している。

これらの地域に対しては、自動車道の有効活用・自治会単位での出張の決定・重症が疑われる患者に対しては、119番入電時からのドクターヘリの要請を意識するなどの手段で、現場到着時間を補っている。

ドクターヘリの離着陸場の整備は

消防長

臨時離着陸場7か所の内、46か所はアスファルト舗装等で散水の必要はないが、25か所はグラウンドであり着陸時に散水が必要になる。災害時に孤立する可能性がある地域でも散水が必要な離着陸場しかないところもある。新たな離着陸場の検討などを踏まえ、市民サービスの向上に努める。



現場にかけつけたドクターヘリ



清水 敏夫

市内畜産農家の現状と 家畜飼料の価格高騰の支援は

農林水産部長 国の配合飼料安定基金や
県の新対策事業、市営牧場を活用

田代農林水産部長

市内の畜産業は、酪農及び乳肉複合農家11戸で乳牛頭数は555頭、和牛の繁殖農家35戸で繁殖雌牛頭数は772頭、和牛肥育農家17戸で肥育牛頭数は840頭、養豚農家1戸で2630頭、養鶏農家は種鶏・採卵鶏合わせて7戸で22万3800羽、奥美濃古地鶏6戸で600羽。

市内の畜産ブランドには『ひるがの牛乳』『飛騨牛』などがある。

家畜飼料の価格高騰に
対する支援策は

農林水産部長

家畜の飼料は90%を輸入に頼り、しかもほぼ全家家畜に配合飼料を食べさせており、価格の高騰は深刻な問題である。実質的な価格上昇は、令和3年4～6月期と令和4年の同期では、151%の値上がり。

国の対策としては、過

去の配合飼料高騰を踏まえての『配合飼料安定基金』の制度が有り、現在は価格補填が発動されており、配合飼料を購入した農家に対し飼料メーカーから奨励金が支払われている。

さらに、岐阜県が新たに実施する『配合飼料価格高騰緊急対策事業』で、配合飼料購入の対象農家に補助が決まり、農家負担の増はほぼ無くなったと考える。

市では、市営牧場での放牧推進で夏場の飼料購入費の削減や、水田転作による牧草の栽培、収穫用農業機械購入に対する支援などで対応している。



令和4年度は31頭を放牧
(市営水沢上牧場)



みのしま 養島 もとみ

高齢化の進む中で、本市の総合医療の一層の充実を図れないか

田口健康福祉部長

2025年に向けて国から示されている「地域医療構想策定ガイドライン」に基づいて、市においても高齢の方の近場での入院診療、市内各病院または専門医師が連携した早く確実な治療、病床のバランスを踏まえた病院間での連携について協議を進め、「地域医療を守り育てる郡上市ビジョン」の見直しにより、将来的に安定した地域医療体制の実現を目指す。

環境維持の今後

各地域の環境を美しく保つための支援は

田代農林水産部長

国の制度である「中山間地域等直接支払交付金」及び「多面的機能支払交付金」の活動を支援している。それぞれ164の集落、107の組織で活用されており活動計

画申請書や活動実績報告書の作成支援を行っている。

また、これらの事業は5年間の継続活動が条件となっており、制度的には農業生産活動、多面的機能の維持を図るための共同活動への支援であるため、高齢化が進む中で集落、組織単位で毎年話し合いを行い、どうやって地域を守っていくかを継続して考えていただくよう支援していく。

全地権者の同意が難しい場合は

農林水産部長

たとえ全地権者の同意を得られなくても制度の該当になる面積であれば制度を使っていただけのこと。大事なことは皆様方にやる気をもって地域を守っていたかどうかということである。



より深まる介護社会に向けて問う

市長

介護職の「処遇」について、

しっかり議論し改善に努めたい



もり 森 よしと

退職した男性が介護職に携わることは珍しいと思うが、中年男性を「おやじヘルパーズ」として介護人材に取り込んではどうか

田口健康福祉部長

現状として介護業界で働く中年男性は少ないが、定年退職後の再就職先として、人材確保の可能性に期待がもてると思う。

また、介護職として就職まではされなくても、介護の知識や技術を持つことは、家族介

護や支えあいの地域づくりに役立つことから、その意義は大きいと思う。

中年男性をターゲットにした取り組みについて、啓発などを含めて効果的な方法を積極的に考えていきたい。

介護職の社会的地位の向上を

日置市長

介護職は大変な仕事で、誰もがお世話になる職種でその意味では、医者や看護師と同じ職種であり、介護職の「処遇」は一番大きな問題である。

介護職はなかなか給料が上がらず、看護職等とは一定の差がある。このような状況に対応

するため、国や自治体は介護保険制度を使って、平成27年から処遇改善を進めている。経験年数に応じた昇給など、さまざまな改善は図られてきたがさらなる議論が必要。

また、処遇等にかかわらず、介護職の皆さんは、理念や深い志を持って仕事にあたっておられる。私たちは、深くリスペクト（尊敬）をする必要があると思う。



問

人口減少時代における 地方創生の取り組みは

市長公室付部長



田代 まさよ

「自然増」とともに「社会増」の両面で取り組む必要がある

目指した取り組みにより、若い世代に地元志向となる意識付けを高めている。

人口の増加と同時に、人のつながりが大切と考える。市の取り組みは

三輪市長公室付部長

「ひと・まちづくり推進事業」では、持続可能な社会の創り手を育成する取り組みを進めている。

次代の人材を育成するために、中高生の地域づくり活動に対する興味・関心を高め、暮らしやすい地域をつくる活動に参加しようとする「意識の醸成」を

人のつながりでは、

市内のどの学校の子どもでも郡上のおどりが踊れることが日本一につながるのではない

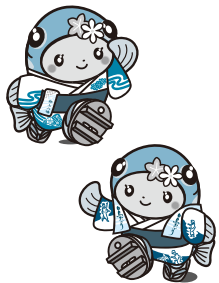
可児商工観光部長

多くの市民の方が郡上のおどりに関わり、知り、守り、踊りを通じて愛着と誇りを抱いてもらうことを目指している。

子どもたちが「郡上のおどり」を体感することができ環境づくりについては、教育委員会と協議をして進めたい。

これらの取り組みが、将来の担い手としてのUターンや多様な分野で全世代が活躍する社会の実現につながると思われる。

「日本一のおどりのまち郡上」にするには



問

避難所におけるアレルギー対応食については



森藤 文男

総務部長

備蓄品の更新に合わせて、最新のアレルギー対応品への見直しを進める

国は、県・市町村にアレルギーに対応した食料の備蓄を促すため、6月に見直した防災基本計画に自治体の努力義務として明記した。

災害時、アレルギーのある住民が避難先で誤食したり、食事に不安を覚えて避難をためらったりするケースがあるためだが、市の地域防災計画に反映されているか

加藤総務部長

市では、平成23年度から災害時に使用する備蓄品の整備を行い、食物アレルギーに対応した「白がゆ」や「わかめご飯」「五目ご飯」の他、「粉ミルク」を備蓄している。対応食品の裏面に28品目のアレルギーに対応している明確な記載があり、容易に安心して食べられる。

国の基本計画の見直しに対応し、市の防災計画においても今年度の更新

時に避難所におけるアレルギー対応について反映する予定である。

市長はアレルギーのある子どもを持つお母さんたちの会と「ふれあい座談会」を実施されたが、どのような感想を持たれたか

日置市長

アレルギーを持つ、お子さんを育てるために、お母さん方が、あらゆる面で苦労されていることを再認識した。

避難所などにおけるアレルギーフリーの食糧の問題については、最優先で取り組んでいく。

市政において、どんな支援ができるか考えて対応していく。



このアレルギー対応のカレーは、開封してすぐ食べられます

クイズに答えて 郡上市共通商品券を ゲットしましょう!



「議会だより」の中に答えがありますので、よく読んで探してください。
クイズ正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市共通商品券をプレゼントいたします。

応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢を記入して、はがき又はファックスでご応募ください。QRコードからでも応募できます。当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。



ご意見は

ご応募に合わせて皆さまの声も是非お寄せください。お寄せいただいたご意見の一部について、内容を要約し、無記名で掲載させていただきます。

あて先

〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821
締め切り:令和4年11月24日(木) 当日消印有効
※ご応募いただいた個人情報には目的以外に一切使用いたしません。
※皆さまからお寄せいただいたご意見は、全議員及び市長はじめ執行部に報告させていただきます。

問1 文化センターの屋根に設置されているものは次のうち、どれでしょうか?

- ① 太陽光パネル
- ② 風力発電設備
- ③ 融雪装置

問2 地域おこし協力隊員の白鳥地域への派遣人数は?

- ① 2人
- ② 5人
- ③ 7人

問3 表紙写真で踊っているのは、次のうち、どれでしょうか?

- ① 「北小ソーラン」
- ② 「西小ソーラン」
- ③ 「北小よさこい」

気軽にしゃべらまいか広聴活動

第2回は白鳥町為真の方々と意見交換を、お宝まんじゅうの会場で行いました。農業、地域での問題や年金生活の不安など多くの意見をいただきました。
気軽にしゃべらまいかへの参加をお待ちしています。



表紙写真説明

～あおぞら運動会 伝統を引き継ぐ～

「元気がいっぱい 明るい 最高の運動会」のスローガンのもと、協力笑顔責任をキーワードに各学年が日常生活から取り組んできた「あおぞら運動会」が9月17日に行われました。
写真は高鷲北小学校の創立から受け継がれている「北小ソーラン2022(5・6年生)」です。6年生を中心に自分たちで動き方や並び方を決め、動きをひとつひとつ調整し、そろうように練習してきました。当日はおそろいの法被を着て、みんなの気持ちがひとつになり力強くそして、しなやかなソーランを披露しました。これからも、ふるさとへの愛着と誇りをもって受け継がれていく「北小ソーラン」です。

編集後記

3年ぶりとなる郡上おどり・白鳥おどり・白鳥の拝殿踊りや食の祭典inぎふ郡上2022が行われました。コロナ禍ではありましたが、適切な対策・対応をし開催されたことは大きな前進ではないでしょうか。各地域でのふるさと祭りも行われる予定です。ウイズコロナ・アフターコロナを

見据えて皆さんで盛り上げていき、持続可能な郡上市にしていく事も大切だと思います。
新しいメンバーになり、広聴活動も始まりました。より開かれ信頼される議会を目指して、一人でも多くの読者が増えますよう、より一層頑張ってください。
よろしくお願ひします。

広報広聴特別委員会

- 委員長 渡辺友三 森藤文男
副委員長 田代まさよ 養島もとみ
尾村忠雄 長岡文男
田中やすひさ 本田教治
野田勝彦

12月定例会の予定

月日	曜日	会議の内容
11月22日	火	議会運営委員会・全員協議会
11月24日	木	総務常任委員会協議会
11月28日	月	産業建設常任委員会協議会
11月29日	火	文教民生常任委員会協議会
11月30日	水	開会・議案説明
12月1日	木	予算特別委員会・本会議
12月9日	金	一般質問
12月12日	月	
12月13日	火	
12月14日	水	総務常任委員会
12月15日	木	産業建設常任委員会
12月16日	金	文教民生常任委員会
12月22日	木	議会運営委員会
12月23日	金	閉会

※開会時間は原則9時30分です。
日程・時間は変更になる場合があります。



ぎふ
ファクス

